

# **LIVE**



# **ALLEN & HEATH**

# Design for Live

dLiveは、新世代のデジタルコンソールの最先端に確固たる地位を確立し、優れたオーディオ品質、次世代のワークフロー、魅力的なFX、忠実なプロセッシングエミュレーションなどで高い評価を得ています。

dLiveの驚異的でパワフルなXCVIコア、DEEPプロセッシングとHarmony UIは、最も洗練されたミキシングの課題をエレガントかつシンプルにします。経験豊かなオーディオプロフェッショナルから初心者にいたるまで、dLiveはミキサーではなく、実際のミキシングに集中できるように作られています。

プロフェッショナルなツアーリング、ブロードキャスト、およびプレステージインストールのために、dLive Sクラスは究極の堅牢性とルーティング機能を提供し、複雑で困難なシステムに対応します。

dLive C Classは、コンパクトでポータブルなフォーマットで同じプロセッシングコアとサウンドパフォーマンスを提供し、企業のAV、多目的会場、礼拝堂、劇場、幅広いPAレンタル会社に最適です。

アプリケーション、ソフトウェア、リモートコントロールなどのエコシステムが充実しているため、dLiveはショーやプロジェクトの中心になるように完全装備されています。







Preamp

Gain

Trim

HPF

65.5 Hz

LPF

12.22 kHz

Insert

Assign

L1

Setup

Listen

PEQ

P12

Width

Freq

Gain

Width

Freq

Gain

Width

Freq

Gain

13 dB

-5.6 dB

63.0 Hz

252 Hz

2.50 kHz

1/4

1/3

0.9

-6.6 dB

-1.4 dB

5.9 dB

LF

Width: 1/4

LM

Width: 1/3

HM



### CDM32

- 32 mic/line inputs, 16 line outputs
- 160x64 XCVI Core
- 1x 128ch I/O Port

### C1500

- 19" rack-mountable
- 12 faders, 72 fader strips
- 12" capacitive touchscreen
- 19 assignable SoftKeys
- 1x 128ch I/O Port



### CDM48

- 48 mic/line inputs, 24 line outputs
- 160x64 XCVI Core
- 1x 128ch I/O Port

### C2500

- 20 faders, 120 fader strips
- 12" capacitive touchscreen
- 19 assignable SoftKeys
- 1x 128ch I/O Port



# **LIVE** C Class



## CDM64

- 64 mic/line inputs, 32 line outputs
- 160x64 XCVI Core
- 1x 128ch I/O Port

## C3500

- 24 faders, 144 fader strips
- Dual 12" capacitive touchscreens
- 19 assignable SoftKeys
- 1x 128ch I/O Port



### S3000

- 20 faders, 120 fader strips
- 12" capacitive touchscreen
- 26 assignable SoftKeys
- 2x 128ch I/O Port
- Redundant, hot swappable power supply

### DM32

- 32 mic/line inputs, 16 line outputs
- 160x64 XCVI Core
- 3x 128ch I/O Port
- Redundant, hot swappable power supply



### DM48

- 48 mic/line inputs, 24 line outputs
- 160x64 XCVI Core
- 3x 128ch I/O Port
- Redundant, hot swappable power supply

### S5000

- 28 faders, 168 fader strips
- Dual 12" capacitive touchscreens
- 26 assignable SoftKeys
- 2x 128ch I/O Port
- Redundant, hot swappable power supply

# dLIVE

## SClass



### DM64

- 64 mic/line inputs, 32 line outputs
- 160x64 XCVI Core
- 3x 128ch I/O Port
- Redundant, hot swappable power supply

### S7000

- 36 faders, 216 fader strips
- Dual 12" capacitive touchscreens
- 26 assignable SoftKeys
- 2x 128ch I/O Port
- Redundant, hot swappable power supply

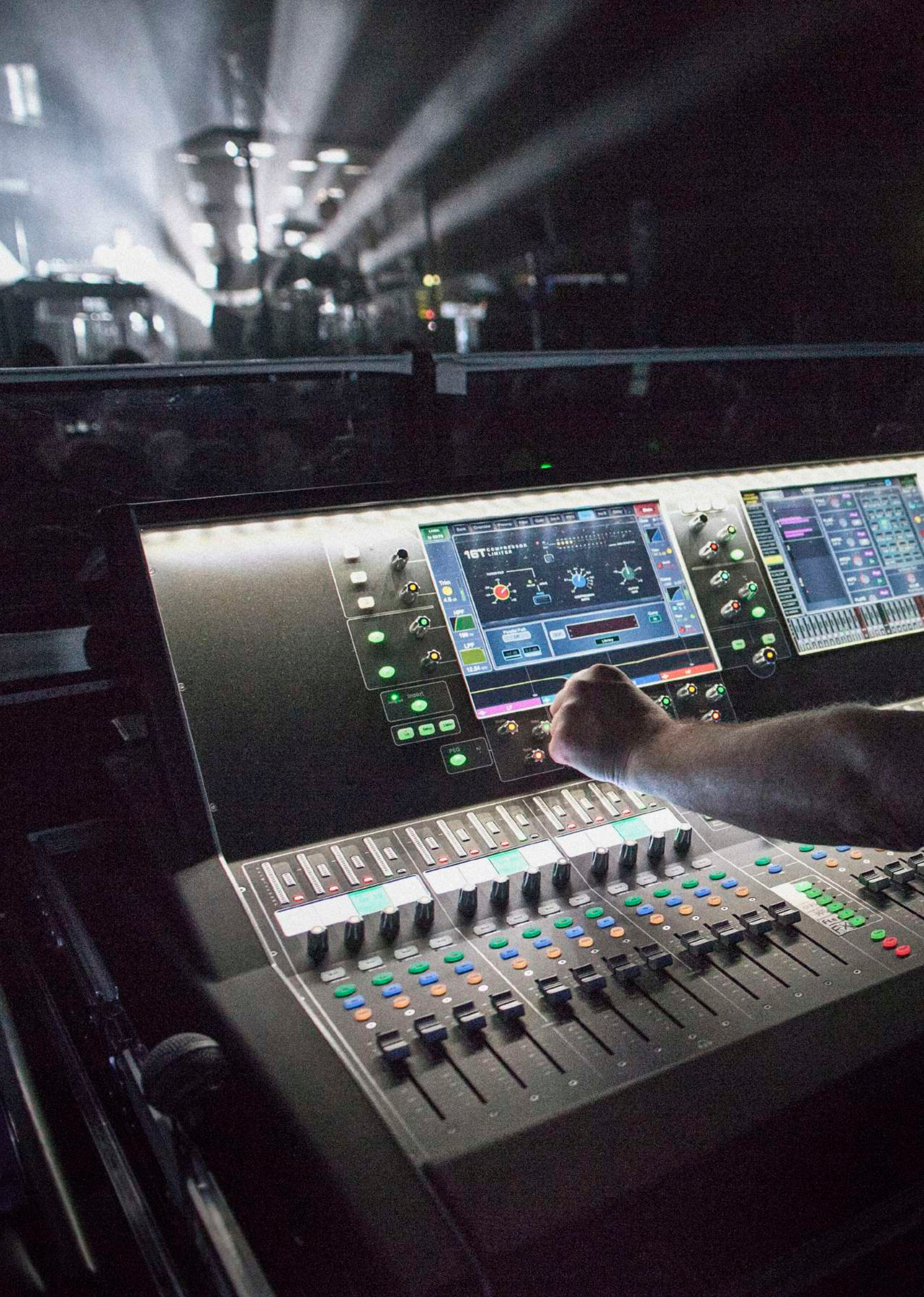
### DM0

最もコンパクトなdLive MixRack DM0は、オーディオの分配または同じインプットを共有するFOHやモニターなどのデジタルスプリットアプリケーション用のミックスエンジンです。

- Only 4U
- 160x64 XCVI Core
- 3x 128ch I/O Port
- Redundant power supply





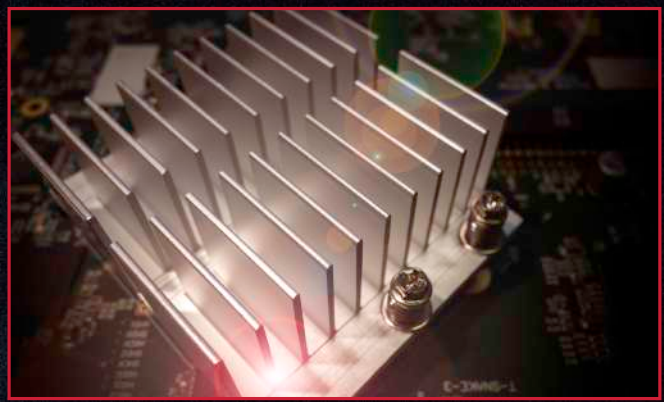






# XCVI

dLive のパワーは、Allen & Heath のR&Dチームが開発したXCVIコアに、最新のFPGA技術を使用した36個の平行・バーチャル・プロセッシングコアを備えます。これにより、96kHzのサンプルレートで160×64のプロセッシングチャンネルを機能させる十分なパワーを生成します。コア内にある6個の平行ミキシングエンジンはサンプル毎に1万以上のクロスポイントを計算し、FPGAルーターは3,000×3,000のオーディオパスを備えています。XCVIの強力なパワー（毎秒250億回の動作）により、dLiveから128個の入力と16個のステレオFXリターン、64個の設定可能なバス、最高の精度とノイズパフォーマンスを追求した可変ビット深度、96ビットのアキュムレーターを使用した無限のミックスヘッドルーム、そして業界で最短0.7msレイテンシーを実現しました。





# DEEP Processing

DEEPプロセッシングアーキテクチャーは、dLiveのインプットとミックスチャンネルに高評価のプロセッシングエミュレーションを直接組み込んでいます。グラフィックEQ、プリアンプ、コンプレッサーを含むカスタマイズドのアルゴリズムは、FXスロットを外部プラグインに

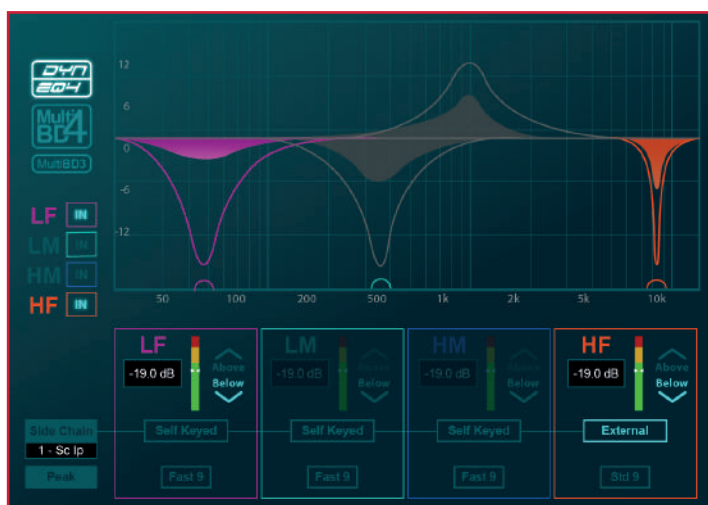
連するセットアップ、レイテンシー、フェーズコヒーレンスライセンスの手間をかけずに必要に応じて自動的にインサートすることができます。OptoコンプレッサーからDual-stage valveまで、伝統的なモデルのオーディオニュアンスとノンリニア特性を捉えています。



# Dyn8

dLiveは、チャンネルベースのプロセッシングの選択肢に加えて、4バンドのダイナミックEQと4バンドのマルチバンドコンプレッサーを備え、パワフルで洗練されたツールを提供します。Dyn8は、ボーカル、ドラムキットの調整やマ

スタリングを含む無限のアプリケーションでダイナミックプロセッシングについての考え方を変えます。64個以上のDyn8エンジンをインプットチャンネルとミックスチャンネルにインサートすることができます。







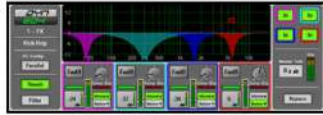
ECHO



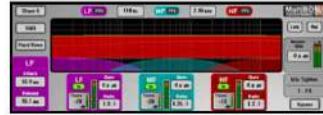
BUCKET BRIGADE



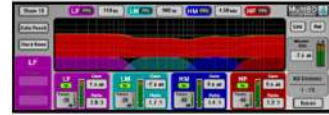
STEREO TAP DELAY



DYNAMIC EQ



MULTIBD3 MULTIBAND COMPRESSOR



MULTIBD4 MULTIBAND COMPRESSOR



TRANSIENT CONTROLLER



PITCH DOUBLER



VS1 VOCALSHIFT



ROTATOR



SMR LIVE



2 TAP DELAY



GATED VERB



ADT DOUBLER



CHORUS



ELECTRIC FLANGE



12 STAGE PHASER



SYMPHONIC CHORUS



HYPABASS



DE-ESSER



DIMENSION CHORUS

# RackExtra FX

RackExtra FXは、ブティックプラグインによって提供される優れた品質と幅広い選択肢をオンボード上で処理の利便性と低レイテンシーを兼ね備えています。最も尊敬されるアウトボードの忠実なエミュレーション

に特化したことは言うまでもありません。16個のFXスロットはそれぞれ専用のステレオリターンを備えており、リバーブ、ディレイ、モジュレーターアルゴリズムのライブラリーをdLiveに統合することができます。

# Harmony User Interface

多くのデジタルコンソールがアナログミキサーと同じ機能を再現しようとしている中、使い慣れているスマートフォンやタブレットに精通し、真のデジタルを追求したのがdLiveです。dLiveサーフェイスに搭載される1つまたは2つの12インチタッチスクリーンは、ピンチ、スワイプ、ドラッグ&ドロップにより思い通りに反応し、機能にアクセスできます。「ウィジェット」エリアは、シーン、メーター、FXなどのカスタムコントロールをスクリーン上に設定することができます。

タッチスクリーンにはロータリーコントロールが追加されておりキー処理機能に対する触覚制御の創造性と即時性を実現し、タッチスクリーンに表示される視覚フィードバックと調和して機能します。ハイグリップの回転式ノブは、精密なコントロールを提供し、瞬時に視覚的に認識できる色別機能を備えたRGBイルミネーションが特徴です。





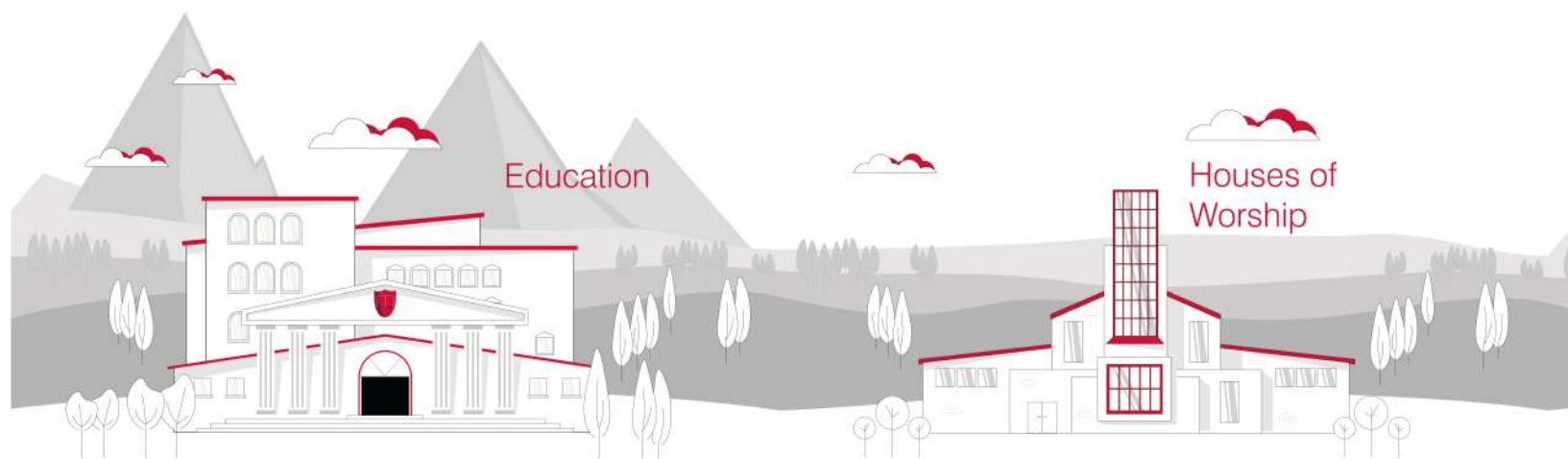
# Transparent Workflow



dLiveのレイアウトは完全にカスタマイズ可能で、ユーザーは自分のショーに合わせたミキシングインターフェイスを作ることができます。また、インストーラーが会場とオペレーターの経験レベルに合わせてサーフェスを設定することもできます。dLiveは、オペレーターがミキサーではなくミックスに集中できるように、迅速で透明なワークフロ

ーを構築することを目指しています。すべての入力またはミックスをあらゆるバンクやレイヤーに割り当てることができます。バーチャル・スクリブル・ストリップを使用して入力とミックスの名前を明確にし、色分けし一目で確認できます。多くの割り当て可能なソフトキーとさらに、3ページの割り当て可能なローターリーがあります。

# DLIVE FOR INSTALLATION



## Distributed

dLiveを用いて、必要な場所にオーディオを配置することができます。このシステムは、AudioRackを介して数十のオーディオポイントと数百のシステム入出力を提供することができます。AudioRackはポータブルステージボックスから固定用のウォールパネルまで幅広いアプリケーションに対応し、スター型およびカスケード型のトポロジに展開できます。接続はイーサネットレイヤー2で、各AudioRack間に最大100mのCATケーブルまたは、光ファイバーに変換することができます。

## Integrated

最大5つの128チャンネルI/Oポート、業界標準プロトコル、GPIOインタフェース、包括的なTCP/IP制御プロトコルをサポートするdLiveは、マーケットで最も統合されたミキシングシステムです。dLiveは、Danteとの統合、ブロードキャスト、マルチトラック録音、ファイバーリンク、他社製品の制御などを含む高度なオーディオネットワークと機能と統合機能に対する会場の要求に応えるために完全装備されています。

## Scalable

dLiveシステムは、50万以上のクロスポイントで、0から800以上のシステム入出力を提供できます。シングルルームから大規模で要求の厳しいスペースまで、最大96台のリモートコントローラーのサポートを追加することで、dLiveがあらゆる環境のソリューションである理由がわかります。

## Accessible

dLiveシステムは、テクノロジーではなくユーザーのために設計されています。設定可能なIPリモートコントロールは、ボリュームコントロール、音楽ソース選択、プリセットリコールなどの必須な要素へのアクセスできます。DirectorソフトウェアとiPadアプリで外出先から簡単にセットアップできます。最大10個のユーザープロファイルに対するユーザーパスワードを使用することでアクセスを制限して重要な設定を保護し、技術者以外のおペレーターの作業を容易にすることができます。

## Versatile

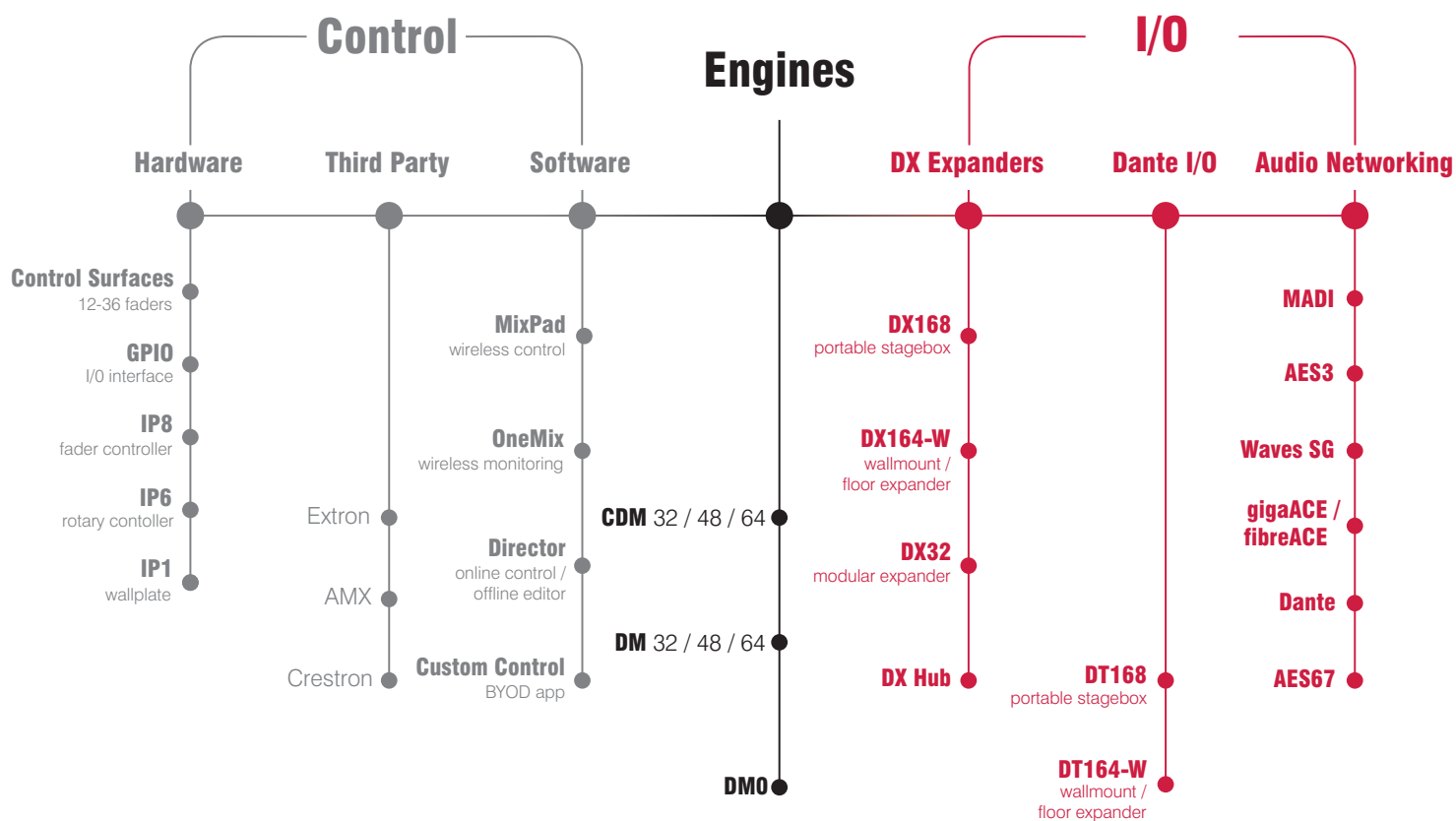
dLiveは、シンプルなBGMや会議室から本格的なライブミュージックや劇場まで、多目的な使用に独自に処理することができます。

## Unrivalled

dLiveは単なるサウンドマネジメントシステムではありません。高い評価を得ているXCVI 96kHz FPGAプロセッシングをベースに構築され、<0.7msのシステムレイテンシーを誇るdLiveのオーディオ品質は、同クラスでは無類のシステムです。



dLiveは、多目的施設の複雑なニーズを満たすように設計され、分散性、統合性、拡張性、そして利便性を可能にしたオーディオミキシングソリューションです。教育施設や礼拝堂からカンファレンスセンターやテーマパークまで、様々な会場のオーディオライフのあらゆる面を管理するツールを提供します。



# Laptop & Tablet Control

**dLIVE**  
Director



dLive Directorは、オフラインでシステムを設定したりゲストエンジニアのファイルを表示または、編集したりラップトップやタブレットを使用してライブをコントロールすることができるdLive用のマルチプラットフォームエディターおよびコントロールソフトウェアです。

dLive Directorにはタッチフレンドリーなインターフェイスが搭載されており、拡張性に優れたフェーダーバンクにより、プロ用タブレットから大型タッチスクリーン/オー

ルインワンまで、さまざまな解像度に対応できます。

タッチスクリーン画面は、dLive Surface GUIのあらゆる側面を複製して、直感的で使いデザインを提供します。

MacおよびWindows OS（Windows Surface Proを含む）と互換性のある dLive Directorは、さまざまなデバイス間で優れた体験を提供します。

---

# Wireless Mixing From Your iPad

**dLIVE**  
MixPad



dLive MixPadは、dLiveデジタルミキシングシステムのワイヤレスモバイルコントロールを提供します。

会場や舞台を歩き回り、必要な場所で音をコントロールすることができます。dLive MixPadとdLive Surfaceを併

用することで、独立した機能を同時に制御することができます。たとえば、サーフェイスをFOHエンジニアが使用し、iPadをステージ上でモニターエンジニアが使用できます。複数のiPadを接続することができ、それぞれ独立した制御が可能です。





dLive Wings

## Compact Touring Takes Off

フライデイト、バスツアー、サポートスロットなど、オーディオ要件がスペースや重量の制約の中でも、dLiveを使用すれば、どこにいても信頼できるシステムを利用できるため、他のシステムを使用する必要がなくなります。以下にいくつかの推奨システムを紹介しますが、必要に応じたMixRackと、それに伴うエクスペンダーとコントロールを選択できます。



### The Aviator

C1500はスリムダウンされた形でdLive Surfaceの中で最もコンパクトです。最新の軽量のフライケースと組み合わせると、重さはわずか26kgになります。DM32はdLive S Class MixRackとしては最小のもので、32のXLR入力と、DanteやWavesなどのために3つのオーディオネットワーキングスロットを備えています。

### The Navigator

dLive MixRackを選び、dLive Directorを搭載した既成のミニPCで複数のタッチスクリーンを装備すれば完成です。このなめらかなシステムは、簡単な輸送と保管のために折り畳むことができ、IP-8リモートコントローラーを追加することで、キーミックスの触覚制御を保持します。



### The Frequent Flyer

究極のトラベルライト/ミックスハードソリューションであるdLive MixPadを使用すると、iPadからショーを直接実行できます。IP-8を追加することでキーミックスにフェーダーの安心感を与えます。

# Personal Mixing

dLiveは、ハードウェアとスクリーン付きのパーソナルミキシングソリューションを提供しています。これらのソリューションはすべてパフォーマーに重きをおき、エンジニアへのプレッシャーを軽減することを目的としています。

dLiveは、40チャンネルのME-1および、16チャンネルのME-500パーソナルミキサーと完全に互換性があります。ME-1の16個のラバーキーは、dLiveシステムからの1つのソースまたはグループに割り当てられます。メインボイカル、ステレオペア、またはドラムキットの制御を容易にします。ME-500は簡単なセットアップとコントロールを提供し、セットアップ時間を削減でき、コスト効率の良い代替手段となります。

dLive OneMixはdLiveのためのパーソナルミキシングアプリで、ユーザーはiPadから自分のモニターミックスをコントロールできます。Adminユーザーは複数のiPadを設定して、他のモニターやホームミックスに影響を与えることなく、各ミュージシャンがWi-Fi接続を介してdLiveにカスタマイズしたパーソナルモニターコントロールを使用できます。dLive OneMixは、必要に応じて制御の度合いを調整できるように構成できます。

dLiveには、IP6 リモートコントロール型のIEMS用のパーソナルミックスのためのユニークなソリューションも提供します。特定のdLiveミックスへの複数チャンネルのセンドレベル、パン、割り当てをコントロールするように設定できます。





# Remote Controllers

次世代型リモートコントローラー、IPシリーズのは、多くのインストールアプリケーションに最適で、ライブサウンドにおけるdLiveシステムの柔軟性を大幅に向上させます。標準的なTCP / IPネットワーク接続を介してdLiveミキシングシステムと接続し、イーサネットを使用して他のコントローラー、コンピューター、他社製デバイスとネットワーク接続することができます。コントロールと機能は、PC / Mac用のdLiveサーフェイスまたはdLive Directorソフトウェアを使用してプログラムされます。



## IP1

IP1はシンプルかつパワフルでプログラム可能なウォールプレートです。エンジニア以外のユーザーでも容易に操作ができます。

- 音楽ソースの選択、レベルコントロール、またはプリセットリコール
- プッシュ&ターンロータリー+ LCD表示
- TCP / IP、PoE準拠
- dLiveシステムで最大16 + 16
- 米国 (Decora) またはEU / UK (Honeywell / MK) サイズ、黒または白



## IP6

IP6は経験の浅いオペレーターがdLiveシステムを安全かつ簡単に制御するのに最適です。

- 6 x プッシュ&ターンロータリーエンコーダー
- 6 x レイヤー
- PoEまたは外部12V PSU (付属)
- オプションのマイクスタンドブラケット (AB8999)
- オプションのヘッドホンホルダー (AB8705)



## IP8

8つのモーター付きフェーダーにより、IP8は追加のハンズオンコントロールを提供します。dLiveのサーフェイスへのサイドカーとして、またはサーフェイスレスで使用できます。会場のマイクや音楽ソースを制御するなど、インストールの制御を簡単にするための優れたオプションです。

- 8 x ムービングフェーダー
- 6 x レイヤー
- PoE + または外部12V PSU (付属)
- 自立または台座などにマウント可能

# Audio Networking Hub

dLiveはネットワークハブであり、数百ものシステム入出力をスケールアップし、すべての主要なオーディオネットワークプロトコルとテクノロジーに対応します。各 I / Oポートには128個の入力と128個の出力があり、すべて独立して割り当てられます。タイライン機能を使用すると、任意のインプットを任意のアウトプットにルーティングすることができ、シームレスなフォーマットとサンプルレートの変換により、チャンネル数やミックスリソースに影響を与えずにシステムマトリックス機能を提供します。



dLive S Class MixRack



dLive S Class Surface



dLive C Class MixRack



dLive C Class Surface



# Option Cards



## fibreACE

大規模イベントなど500m までの長距離ケーブル用の光ファイバソリューション

- 128 I / O、96kHz
- デュアルリダンダント
- コンバーターモードは、MixRack to Surface リンクを光ファイバーで置換
- 切り替え可能な制御ネットワークブリッジ



## gigaACE

デジタルスプリットアプリケーションとポイントツーポイント接続のための費用対効果の高いプラグ&プレイソリューション

- 128 I / O、96kHz
- ウルトラロー・トランスポート・レイテンシー - 5 サンプル (52 マイクロ秒)
- デュアルリダンダント
- 切り替え可能な制御ネットワークブリッジ



## superMADI

放送接続用のマルチツール。ブロードキャスト/レコーディングと中継車 + OB Vansの要件に対応するマルチフォーマット

- 同軸BNC 128 I / O
- マルチモード/シングルモードSFP モジュールで最大128の I / O
- 1リンクあたり 48 / 96kHz の可変可能なサンプルレートと冗長性
- Smux またはHighSpeed 96kHz モードの選択



## Waves V3

Waves SoundGrid ネットワークプラットフォームインターフェイス。プラグイン処理、マルチトラック録音、オーディオ分配

- 128 I / O
- 切り替え可能な48 / 96kHz のサンプルレート
- Waves SG ネットワーク
- マルチトラックの録音と再生



## AES3

- 4in / 6out、0in / 10out、6in / 4out、2in / 8outのいずれかを選択可能
- 切り替え可能なサンプルレート (96kHz、88.2kHz、48kHz、44.1kHz)
- 入力SRC 32kHz~192kHz
- 最初のAES入力から同期するオプション



## Dante

Dante64×64および、Dante128×128オーディオネットワークカードは、さまざまなライブ、インストール、ブロードキャストにdLiveを統合できるように設計されており、標準的なネットワークケーブルおよびハードウェアを使用して、Danteネットワークおよびデバイスに対して低レイテンシー、チャンネルの接続性を提供します。

- 128または64双方向チャンネルのDante I/O (96kHzまたは48kHz)
- 冗長性またはスイッチ動作のプライマリおよびセカンダリーオーディオポート
- 設定用の専用コントロールネットワークポート
- AES67互換
- Dante Domain Manager (DDM) 対応



# Features

## System

MixRackとサーフェイスを別々に持つ分配システム  
柔軟なI/OのためのDX拡張ラック  
DEEPプロセッシング - パワフルなプラグイン内蔵  
最大5つのオーディオネットワークポート、それぞれ128個のI/O  
MEパーソナルミキシングシステムに対応

## dLive MixRacks

0~64個のマイクプリアンプから7つのモデルを選択

- XCVI 160×64 FPGAコア
- 96kHzサンプルレート
- 精密とノイズパフォーマンスのための可変ビット深度
- 96ビットアキュムレーターによる無限のミックスヘッドルーム
- クラス最高、ウルトラローレイテンシー < 0.7ms
- 128入力チャンネルフルプロセッシング
- 64ミックス出力フルプロセッシング
- 64バス設定可能(グループ、FX、aux、マトリックス、メイン)、LR、LCR、最大5.1メインモード
- 専用ステレオリターン付き16 RackExtra FX
- 64 Dyn8ダイナミックEQおよびマルチバンドコンプレッションエンジン
- より高い透明性を実現するアクティブパッドプリアンプデザイン
- デュアルリダントオーディオ接続 (Sクラス)
- リダントホットスワップ対応電源 (Sクラス)

## dLive Surfaces

12~36フェーダーから6つのモデルを選択

- すべてアサイン可能な最大216フェーダーストリップ
- Harmony UIインテグレートースクリーン、ラップ・アラウンドコントロール
- 1つまたは2つの12インチタッチスクリーン
- ジェスチャーコントロールピンチ、スワイプ、ドラッグ&ドロップ
- シーン、メーター、FXほか用設定操作エリア
- 3ページ分のアサイン可能な6つのロータリー
- アサイン可能なソフトキー (Cクラスで19個、Sクラスで26個)
- 包括的なマルチポイントメーター
- 最大4つのサーフェスを一度に制御可能

## Control

- ネットワーク化された有線または無線のコントロール
- オンラインまたはオフライン用PC / Mac 編集および制御のためのDirectorソフトウェア
- dLive MixPadおよびOneMixアプリケーション
- PoEリモートコントローラーのIPレンジ
- 他社製品のためのTCP / IPプロトコル
- 広範なユーザー権限とプロファイル
- キューリスト、複数のシーンアップデート、クロスフェード、リコールフィルター、組み込みリコール、自動ストア、リコール取り消しなどの包括的なシーン管理
- カスタマイズ可能なコントロールアプリケーションおよびエディター



# Expanders

## DX168

DX168は、dLiveシステムにリモート I / Oを追加するための頑丈なステージボックス型のエクspanderです。DX168は、PAレンタル会社、教育施設、礼拝堂、その他多くの環境で必要とされる携帯性と利便性を提供します。丈夫なキャリーハンドルとゴム製のバンパーを採用したわずか4.8kgの重さです。

- 16個のdLiveマイクプリアンプ、8個のライン出力
- カスケードモードでは、2台のDX168エクspanderをデジチェーン接続で I / Oを追加可能
- dLive Sクラスハードウェアへの冗長DX接続
- オプションで19インチラックマウントが可能
- DXポート、DXリンクカードまたはDXハブに接続可能



## DX32

DX32 エクspanderは、dLive システムにリモート、I / O モジュールを追加します。アナログまたはデジタル I / O の選択に合わせて4 x 8チャンネルスロットを提供します。複数のエクspanderをMixRackに接続し、さらにDX32をdLiveシステムに接続できます。

- 4 x 8chモジュラー設計
- 冗長化されたホットスワップ対応電源
- サーフェイスまたはMixRackへのデュアル冗長Cat5リンク
- ラックマウントまたは直置可能

## DX164-W

DX164-Wは、固定設置でリモート I / Oを追加するための壁埋込式のエクspanderです。

- 16個のdLiveマイクプリアンプ、4個のライン出力
- カスケードまたはリダンダントモード
- DXポート、DXリンクカードまたはDXハブに接続



Now with AES67  
**Dante**  
SPOKEN HERE



## DT168 & DT164-W

DT168 Dante I/Oエクspanderは、ゴム製バンパーとキャリーハンドルによりポータブルアプリケーションに最適です。ステージ上に置か、dLive Danteネットワークにおけるドロップインエクspanderとして使用することも可能です。

- ダンテオーディオエクspander、96kHz/48kHz
- ポータブルステージボックス設計
- 16マイクプリアンプ (ファントム電源LED付き)
- 8個のラインアウト

DT164-Wは、汎用性の高いウォールマウントDante I/Oエクspanderで、永続的な設置が可能です。ユニットは、壁内または壁上、またはステージ用の床ポケット内に取り付けることができます。

- ダンテオーディオエクspander、96kHz/48kHz
- 壁面マウントまたはディップトラップの設置
- 16マイクプリアンプ (ファントム電源LED付き)
- 4個のラインアウト



**DLIVE**  
C3500

**ALLEN & HEATH**

[WWW.ALLEN-HEATH.COM/DLIVE](http://WWW.ALLEN-HEATH.COM/DLIVE)

AP11271\_2

Allen & Heath reserves the right to alter any information supplied in this document or any other document supplied hereafter. E&OE

*ArtWiz*

株式会社 アートウィズ

本社 〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町511  
Tel: 03-3202-2330 / Fax: 03-3202-2331

山梨営業所 〒409-3845 山梨県中央市山之神流通団地3-3-4  
Tel: 055-274-4004 / Fax: 055-274-4005